

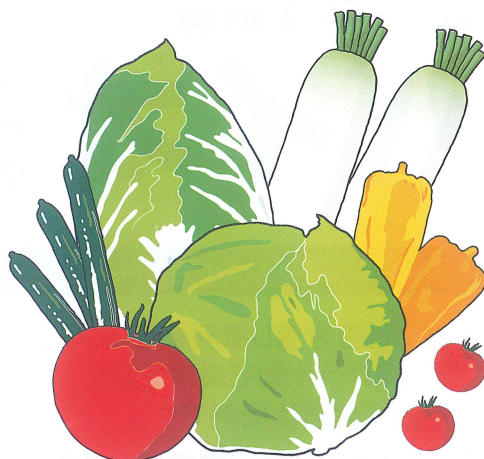
有機栽培にピッタリ!おいしい野菜作りに!

タキイ

菌体特殊肥料

(バイオコダルマ)

バイオダルマ



定評のある菌体特殊肥料「バイオダルマ」を
顆粒状にして扱いやすい小袋包装に!

菜園やプランターに適した、
使いきりサイズです。

元肥に最適!!

1Kg入(約1~2坪分)

特長

- 安全性を考慮し原料を吟味した良質の有機物に、天然ミネラル鉱石微粉を加え「ダルマ菌」にて発酵させた、完熟発酵菌体肥料です。
- いやな臭いや二次発酵が少なく、散布直後でも植え付けができます。また、「ダルマ菌」が、土壌中の未熟有機物を比較的速やかに腐植化します。
- 有用「ダルマ菌」が生成する各種有機酸やビタミン、原料に含まれるミネラルやカルシウムなどの働きで、野菜などでは特に食味の向上、含有成分の強化が期待できます。

使い方(元肥)例

植 物	菜園(地植え)/m ²
葉菜類 コマツナ、ホウレンソウ、 レタスなど ハクサイ、キャベツ、 ブロッコリーなど	200~300g 300~400g
根菜類 ニンジン、ダイコン、カブ、 タマネギ、ネギ、ジャガイモ、 サトイモなど	200~300g
果菜類 トマト、ナス、ピーマン、 キュウリ、カボチャ、 スイートコーンなど	300~400g
※標準プランター (60cm・約15L)	15~30g

※入れすぎると生育に障害を生じることがあります。



顆粒状だから、使いやすい!

使用例

元 肥

タネまき、植え付け時は元肥として土によく混ぜ込みます。

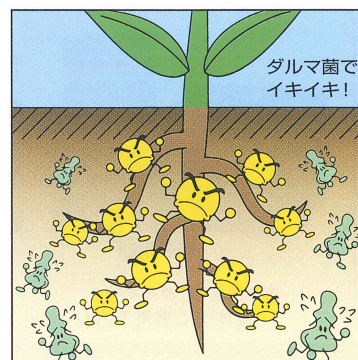
※1~2坪あたりに約1袋(1kg)程度を目安に、生育に合わせて加減してください。(1坪:3.3m²)

追 肥

置き肥(追肥)の場合は1~2握り/m²を目安に、適量を株元に置く、または散布します。

※堆肥などを別途利用の場合は、施用量を抑えめに調整してください。

※作物により不足する肥料成分は別途補充、追肥してください。



ダルマ菌で
イキイキ!

※「ダルマ菌」は、きれいな山間や森の腐葉土層にいる有用微生物群です。



タキイ種苗株式会社

www.takii.co.jp

有機農法に、土壌の若返りに……

菌体・特殊肥料

バイオダルマ

15kg入

菌体特殊肥料バイオダルマとは

- 安全性を考慮し原料を吟味した良質の有機質に、天然ミネラル鉱石微粉を加え、「ダルマ菌」にて発酵させた、完熟発酵菌体肥料です。
- バイオダルマは完熟堆肥とボカシ肥料の特長をあわせ持ち、土壌の改善に優れた効果が期待できます。

【特長】

- いやな臭いや二次発酵が少なく、散布直後でも植え付けができます。また、「ダルマ菌」が、土壌中の未熟有機物を比較的速やかに腐植化します。
- 「ダルマ菌」が土壌中で他の未熟有機物を分解、増殖する過程で各種の有機酸、ビタミン、酵素などを生成します。
- 原料に含まれる豊富なカルシウムやミネラルなどの働きにより、食味の向上、含有成分の強化が期待できます。
- 「ダルマ菌」が増殖することにより、拮抗作用で他の有害菌の増殖抑制や、連作障害の症状緩和が期待できます。
- 豊富な有機態石灰—カルシウム（20%）が石灰の補給と酸性土壌の改良に役立ちます。

＜成分分析例＞

窒素全量(N) : 2~4%位 水分: 約20% pH : 7.0~7.2
リン酸全量(P₂O₅) : 5~8%位 容量: 15kg入り 比重: 約0.8
加里全量(K₂O) : 4~5%位 一般細菌数: 約10¹¹個/g
石灰全量(CaO) : 約20.0%

その他生育に必要な苦土(MgO)、微量元素の銅(Cu)、亜鉛(Zn)、ホウ素(B)などを含みます。
(分析: (株)島津テクノリサーチ、NORRA 微生物研究所)

※有機物由来の為、生産地その他の条件により肥料成分、形状、色調及び臭い等について、若干の差異があります。

※この製品は顆粒状ではありません。



●美味しい野菜づくりの強い味方!

●本圃 (10aあたり)

葉菜類: 15袋~20袋 (225kg~300kg)

根菜類: 15袋~20袋 (225kg~300kg)

果菜類: 20袋~25袋 (300kg~375kg)

花き: 15袋~20袋 (225kg~300kg)

※耕起前全層施用、または耕起後畦面施用し、作土と混和して下さい。

●追肥 (10aあたり)

70kg~120kgを株元に施用して下さい。

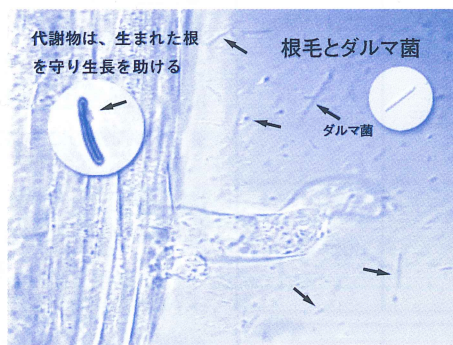
※作物により不足する肥料成分は別途補充して下さい。
また施肥量は前作の残肥を考慮して下さい。



●姉妹品の「ダルマ菌」
(液体) もご利用下さい。

【ダルマ菌とは】

- きれいな山間や森の腐葉土層にいる土壌菌群で、ごく自然な菌です。
- 高温や乾燥にも強く、長く土中に生存し、各種の病原菌に対し拮抗作用があります。



根毛とダルマ菌

ダルマ菌が新しい細胞を保護し、根と共生している様子。

多種類のビタミン類・アミノ酸・核酸の塩基類等を分泌して根に与えている。

発売元 ●タキイ種苗株式会社

〒600-8686 京都市下京区梅小路猪熊東入
TEL (075) 365-0123 (大代表) FAX (075) 365-0150



ダルマ菌とは

- ・きれいな山間や森の腐葉土層にいる土壌菌群で、ごく自然な有用菌です。製品は、相乗効果を高めるため数種類の酵素を混合しています。

目的及び期待される効果

- ・連作などにより活力の低下や疲弊した土壌へ有用微生物を補うことで、土壌改良の効果が期待できます。
- ・土中の有機物や植物の根から出る代謝物を栄養源として増殖しますが、その過程で生産される各種の有機酸（アミノ酸など）・ビタミン・酵素の働きで、植物の生長を促したり、土壌の団粒化を促進する（土がやわらかくなる）効果が期待できます。
- ・土壌中の未熟有機物を腐食します。
- ・各種の病原菌に対し拮抗作用が期待できます。
- ・連作障害の緩和が期待できます。
- ・ダルマ菌は熱や乾燥にも強く、不良条件下でも生き続けます（-10℃～80℃で生存可）。

使用方法

対象物	希釈倍数	散布方法
種子散布	原液～10倍液	種子に散布付着する。
育苗散布	100倍～200倍液	播種後1回、移植後1回～3回散布。
土壌灌注	原液3ml～100倍液	植え穴溝に灌注、追肥時にも散布。
葉面散布	5倍～200倍液	約20日～30日おきに散布。
稲の苗	100倍～200倍液	苗にシャワー状で散布。
水稲	10a当たり・原液20ℓ	田植え前に水田全面に撒く。
観葉植物	原液～10倍液	中鉢に原液3ml～5ml灌注。
花	原液～10倍液	中鉢に原液3ml～5ml灌注。
樹木	原液～10倍液	根の付近に散布。

（対象物によって希釈数は異なります。）

取扱の注意

- 1.使用前に容器（液）をよくゆすって集落（コロニー）を散らしてご使用下さい。
- 2.殺菌剤、殺虫剤と混用はできません。
- 3.薄め液は、殺菌作用のない水、水道水使用の場合は、塩素をぬいてご使用下さい。

保管方法

- 1.直射日光や高温多湿を嫌います。冷暗所に保管して下さい。

使用期限

- 1.常温保存：夏期（約4ヶ月）冬期（約5ヶ月） 5℃保存：（約6ヶ月）以後休眠します。

特徴

- 1.好気性・低温性、耐熱性・酵素生産菌・生菌数約 10^7 /g
（製造分析NORRA微生物研究所）

容量

500ml・1ℓ・5ℓ・10ℓ・20ℓ

＊食品（食物）ではありませんので幼児が誤ってたべないようにご注意ください。

●上記の取り扱いについては、代理店又は製造元（NORRA 微生物研究所）にご相談下さい。

TEL：075(611)0327・FAX075(611)7609

発売元



タキイ種苗株式会社

本社／〒600-8686 京都市下京区梅小路通猪熊東入
TEL. (075) 365-0123 (大代表) FAX. (075) 365-0150



微生物資材の取扱い方

● バイオダルマ ● ダルマ菌 ● ダルマセラミック

対象物	約容量	約水分	バイオダルマ	ダルマ菌	ダルマセラミック	上手な使い方、作り方のポイントと注意事項
生ゴミ処理	130 ℓ	50%	◎ 約 2kg	○ 約100ml	△ 約 3kg	洗剤、水分をよく取り生ゴミの上にバイオダルマを散布する。コンポスト容器の下に水が溜らないこと。
トイレの消臭	1 ton	—	○ 約 3kg	◎ 約1 ℓ	△	便槽の中へは、殺菌作用のある薬剤は使用しないこと。汲み取り後散布。
生魚の消臭	1 ton	50%	△	◎ 約5 ℓ	△ 約 40kg	数回対象物に散布。
家畜糞尿消臭	1 ton	50%	△	◎ 約5 ℓ	△ 約 40kg	数回対象物に散布。
有機液肥料	150 ℓ	水	◎ 約 15kg +	◎ 約1 ℓ	△	不足成分を補充して、水につけて時々攪拌して約1ヶ月以上の物で上水を使用。
ボカシ肥	1 ton	45%	◎ 約 150kg	◎ 約3 ℓ	○ 約 40kg	米糠、魚粉、油粕等、不足成分を混合し補充して発酵熟すこと。
野菜くず堆肥	1 ton	50%	◎ 約 150kg	○ 約3 ℓ	△ 約 40kg	残留農薬が有る場合は、野菜を雨打たしにして出来るだけ洗い流す。水分量に注意。
雑草堆肥	1 ton	50%	◎ 約 150kg	○ 約3 ℓ	△ 約 40kg	半生草と乾燥草を混ぜて水分調整に注意。
イナワラ堆肥	1 ton	50%	◎ 約 150kg	○ 約3 ℓ	△	バイオダルマを散布後水分調整をする。
落ち葉堆肥	1 ton	60%	◎ 約 300kg	○ 約5 ℓ	△	水分調整に注意。古い落葉を選ぶこと。
モミガラ堆肥	1 ton	60%	◎ 約 300kg	○ 約5 ℓ	△	数回発酵温度を上げ、温度が下がってからシートカバーを掛けて良く蒸らす。
カヤ堆肥	1 ton	65%	◎ 約 300kg	○ 約5 ℓ	△	カヤをできるだけ細かく切る。発酵している時の水分を保つこと。

◎特に適す ○適す △あまり適さない

堆肥作りの注意事項

- * 散布使用量が多いほど良い効果が出る。
- * 散布使用量は、対象物によって異なる。
- * 作物によって補充すべき不足肥料成分を混入する。
- * 雨水で堆肥が濡れないようにする。
- * 堆肥の積み上げ高さ約1m以上で良く発酵させる。
- * 発酵温度が上がっている時は切り返さない。
- * 発酵温度が下がってから切り返す。
- * シートカバーは温度約40℃に下がってから掛ける。
- * 雑草の種や主な有害菌・害虫・卵などの死滅温度（約72℃以上）と死滅時間が必要ですので、発酵温度を十分に上げて下さい。
- * 家畜糞、穀類、特に有機資材に生息する有害微生物（細菌・ウイルス・真菌・寄生虫）等を防止することで無害堆肥を土壌（田・畑）に補う農業が大切です。

【バイオダルマ・ダルマ菌・ダルマセラミック】に使用する微生物

* 好気性・低温性・耐熱性・酵素生産菌・生菌数約 10^7 /g

* 食品（食物）ではありませんので幼児が誤って食べないようにご注意ください。

●上記の取り扱いについては、代理店又は製造元（NORRA微生物研究所）にご相談下さい。

12-05

NORRA
株式会社

〒612-8357 京都市伏見区帯屋町920番地
TEL. (075) 611-0327
FAX. (075) 611-7609